

令和4年度 第2回 雄踏中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年9月22日（木） 15時00分から16時30分まで
- 2 開催場所 雄踏中学校 1階会議室
- 3 出席委員 藤田 源大、坂田 英夫、山内 勝己、石川 恵一、加茂 聡美、坂下 正泰、
関谷 みゆき、豊田 悦子、藤田 雅光
- 4 欠席委員 江間 祐暁、
- 5 学 校 松下 浩隆（校長）、松井 麻紀子（教頭）、山守 達大（教諭）、井口 卓大（教諭）、
藤松 昌一（CSディレクター）
- 6 教育委員会 清水 悠（浜松市教育委員会教育総務課）
- 7 協議事項

（1）学校評価アンケート項目について

- 8 会議録作成者 CSディレクター 藤松 昌一

9 会議記録

教頭より委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。また、タブレット端末が授業の中で活用されている様子や生徒の様子を参観する時間を設け、参観後に、感想や意見を記入するよう依頼があった。

協議に入る前に、教育委員会教育総務課清水副主幹より、学校運営協議会の自己評価や学校関係者評価、評議員の任期についての説明があった。

議長より、別紙資料に基づき、第1回学校運営協議会議事録の内容の確認があった。

（1）学校評価アンケート項目について

議長の指示により、教頭から今回の検討の視点について、教務主任の山守から別紙資料に基づき昨年度のアンケートの結果や保護者からの意見、アンケート結果の活用について説明があった。その後、3グループに分かれて協議を行い、その後、それぞれのグループより以下の発言があった。

- ・保護者用アンケートでは教育目標、CS活動に対する理解が出来ているか疑問であることから、目に見える活動（アピール）が必要であること。生徒用アンケートでは、家庭学習を2時間/日についてどう評価すれば良いか判断が難しいのではないか。また、「授業に頑張っており取り組む」との質問に、「頑張っており」の評価が難しいとの意見があった。（Aグループ）
- ・家庭学習で2時間に「塾も含む」との文言を入れたらどうか。保護者用No10のPTAは「CSの仕組みを生かして」という言葉がわかりづらい、つまり、答えづらいとの意見が出た。ここは省略したらどうか。（Bグループ）
- ・学校目標、CSの仕組み等が保護者にはわかりづらくなっている、具体的な活動が伝わっていないと感じる。評価が低いのはあえて具体的に質問したからだが、もう少し理解しやすいように質問内容を検討していきたい。教職員自己評価No13「CS活動によって地域活動に参画することができましたか」もわかりづらいので文言の修正を検討する。No3「生徒のコミュニケーション

能力を高めることを意識して活動していますか」については、「職員自身もコミュニケーション能力を高める努力をしているかどうか」との質問に変えたらどうかとの意見があったので検討していく。(山守教諭)

- ・学習時間について2時間と2時間以上とアンケートによって時間表記に差異がある。統一したらどうか。さらに必要な学習時間は学年によって違ってくるのではないか。目標設定を学年ごとに変えたらどうか。保護者用N o 10の「PTAやCS活動の仕組みを生かして」は、やはり分かりにくい。どうしてもCSの文言を入れるのであれば、カッコ書き又は※印で注釈を入れたらどうか。(Cグループ)
- ・どのグループも同じ課題がでている、CSの意義をより一層深めていく事が重要。(関谷委員)
- ・ある程度関係者には周知が出来てきたのではないか。CSは学校経営方針のもとで動いているはず。CS活動が全面に出るのではなく、学校経営の一環として周知されていくのが重要だと考えている。(加茂委員)
- ・やはりCSの周知は重要なのでCSの言葉を残した方がよい。周知できていない環境で進めていくと活動の意義が薄れていくのが心配。地域の人たちが学校応援団としてCSを通して理解してもらえればと思う。(藤田会長)
- ・学校運営協議会に先生方に参加してもらったらどうか。意見を述べてもらいお互いのコミュニケーションを深めたらいいのではないか。(坂下委員)

その他連絡事項

松井教頭から、雄踏中学校の教育活動が掲載された新聞記事を紹介するとともに、1年生の防災宿泊訓練について資料をもとに説明があり、炊き出し支援、藤田委員の防災講話の講師依頼、実施日の訓練見学の案内があった。また、次回会議は、11月17日(木)午後3時から開催する旨の報告があった。